

日本文化体験・国際交流関連

各種学外研修・国際交流イベント

今年度の各種学外研修に関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべて中止した。国際交流イベントについては、同ウイルス感染防止のため、以下のオンラインでの活動を実施した。

● オンライン交流会

2020年7月28日（火）18時から、オンラインでブルガリアのヴェリコ・タルノヴォ大学との交流会を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大のため、本学学生が海外に留学できず、また外国人留学生と交流する機会も減っていることから、Zoomを使って遠隔での交流を行った。

今回は、本学学生3名と本学教員、ヴェリコ・タルノヴォ大学学生2名及び同学日本語日本文化センター教員2名が参加し、1時間ほどの交流を行った。本学の学生からは徳島と徳島大学の紹介、日本の文化紹介の一つとして、自身が参加した成人式の説明があった。ヴェリコ・タルノヴォ大学側からは、大学紹介に加えてブルガリアの料理や美しい世界遺産に関する説明があった。プレゼンテーション後の質疑応答では、「吉野川の近くにお城はありますか？」との質問に本学学生が写真を使って説明する等、対面に近い有意義な交流ができた。

その後、10月21日（水）にオンラインでブルガリアのヴェリコ・タルノヴォ大学の学生に「日本人のコミュニケーション」というテーマで授業を実施した。ヴェリコ・タルノヴォ大学の応用言語学部生6名が参加し、日本人の高コンテクスト・コミュニケーションスタイルや丁寧さについて講義を行った。参加した学生からは、「今後、もっと日本・徳島のことを知りたいと思った」、「日本語でのコミュニケーション力を向上させたい」という声を聴くことができた。

その他、シンガポール国立大学（シンガポール）との交流を2021年3月3日に行い、ハノーバー医科大学（ドイツ）との交流を2021年3月24日に、テキサス大学（アメリカ）との交流を2021年3月31日に予定している。



● Global Lunch

Global Lunchは、徳島大学の外国人留学生と日本人学生がランチを食べながら英語・日本語をはじめとする多言語で交流する場である。

2017年度後期から試験的に開始し、2018年度から本格的に実施している。2020年度は、前期・後期それぞれ水曜と金曜の昼休みに実施し、前期20回、後期19回開催した。新型コロナウイルスのため、すべてオンライン（Zoom）で行い、前期は100名、後期は40名の学生が参加した。

中国、韓国、アメリカ、インド、インドネシア、フィリピンなどからの外国人留学生と日本人学生が、大学生活について質問し合ったり、互いの文化を紹介したりして交流を深めた。ただ、今回はオンラインということもあり、参加人数が大幅に減少してしまった。

今年度の特徴として、オンラインで実施したこともあり、本学を卒業した日本人学生や留学生が多く参加してくれた（のべ87名/140名中）。中には5年前に本学を卒業した留学生も参加するケースもあり、参加した学生にも大きな刺激となったようである。

Global Lunchでは、日本人学生・外国人留学生が所属・研究分野・国籍を超えてつながり、双方の文化を学び合う場を目指している。また、Global Lunchは異文化への理解を深めると同時に、外国語の運用力を高める実践の場であり、2018年度から開始した語学マイレージ・プログラムの加算対象活動である。

Global Lunch 参加者数推移		
開催時期（回数）	参加人数	うち留学生
2017年度後期（7回）	45	17
2018年度前期（11回）	275	28
2018年度後期（12回）	283	151
2019年度前期（13回）	400	93
2019年度後期（13回）	244	132
2020年後前期（20回）	100	63
2020年度後期（19回）	40	11

● 学生サポーター制度

本学外国人留学生をサポートし、交流活動を支援する「学生サポーター」（本学日本人学生）がある。センターが実施する日本語教育には集中講習型の日本語研修コース、外国人留学生・研究者・研究生とその家族対象の総合日本語コースがあり、各クラスの要請に応じて学生サポーターに授業や日本文化体験イベントへの参加を要請している。また、サマースクールをはじめ、センターで行われる事業のサポートも依頼している。

学生サポーターには 89 人（2021 年 2 月 28 日現在）が登録している。